

Rotary



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2025～2026 年度 高山中央 RC 会長テーマ

親睦・学び・成長・奉仕 ～地区と地域の未来を考えて～

よいことの
ために
手を取りあおう

◆会長 都竹 太志 ◆幹事 井ノ下 雄志 ◆会報委員長 今井 哲也 ◆会報担当 水口 邦博

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席数	Make-up	出席率
本日 1399 回	56 名	56 名	39 名	——	69.64%
前々回 1397 回	52 名	52 名	39 名	1 名	76.92%

●点 鐘

●ロータリーソング

●ビジター・ゲストの紹介

●会長の時間

奉仕の理想

会長 都竹 太志

皆さん、こんにちは。本日はクラブアッサンブリです。先週、私の所信をお話しさせていただきましたが、それをもとに各委員長の皆さんが今年度の活動方針を練ってくださいました。本日はその発表となります。どうぞ、率直なご意見やご質問を遠慮なくお寄せください。



さて、7月は「母子の健康月間」です。これは、ロータリーが掲げる重点分野の一つであり、世界中の母親と子どもたちが健康で希望に満ちた人生を送ることができるよう支援する活動です。私たちが新年度のスタートにこのテーマを掲げることは、ロータリーの奉仕の原点を改めて見つめ直す大切な機会になります。

母と子の健康というテーマは、極めて基本的でありながら、世界中で今なお深刻な課題として存在しています。世界では、5歳の誕生日を迎える前に命を落とす子どもが、なんと5.6秒に1人という頻度で存在します。その数は年間でおよそ560万人にもなり、その8割以上が南アジアやアフリカのサハラ砂漠より南の地域に集中しています。原因は、栄養失調や適切な医療、衛生環境の欠如など、どれも予防可能なものばかりです。

また、世界では毎日800人近くの母親が妊娠や出産に関連する原因で命を落としています。医療制度が整っていない地域では、妊娠や出産が命がけの行為となっています。このような現実を前に、私たちはどのような言葉を持ち、どのような行動を取るべきなのか。その問いに真摯に向き合うことが、「母子の健康月間」の意味でもあります。

日本国内においても、昭和40年に母子保健法が制定され、母子の健康保持と増進が国を挙げて取り組んできました。国際的にはWHOやユニセフ、JICA、さらには多くの民間団体が「母子保健週間」や「世界母乳育児週間」といった活動を通して、母子支援に取り組んでいます。

一方で、「父子」というキーワードで探してみると、介護・育児休業法が1991年に制定され、何度も改正を繰り返しておりますが、2023年度の育児休暇の取得率は女性が84.1%に対し男性は30.1%にとどまる等々、残念ながらもまだ十分な制度の活用や仕組み作りには至っていません。只、近年はようやく父親の育児参加が社会的の中でも注目され、たとえば島根県では「パパの育児手帳」、岡山県では「おかやま子育て応援BOOK（パパ編）」などが発行されています。子育ては母親だけの問題ではなく、家族全体、そして地域社会全体で支えるべき課題であるという認識が広がってきていることは、非常に心強いことです。

ロータリーの理念である「超私の奉仕」は、自らの利益を超えて他者のために尽くす姿勢を示す言葉です。しかし、それは決して特別なこと、大がかりなことを意味するわけではありません。地域での小さな一歩、たとえば、子育て中の家庭へのちょっとした支援、健康教育の普及活動、予防接種の啓発など、これら一つひとつが、「母子の健康」を支える大切な行動なのです。

ロータリアンの行動指針である「四つのテスト」の中にも、「それはみんなのためになるか？」という問いがあります。この問いに対する答えを、私たちの言葉と行動をもって形にしていくこと。それこそがロータリーが目指す奉仕の姿だと考えています。

今年度、私たちのクラブでは「地区と地域の未来を考えて」というサブタイトルを掲げています。その一環として、補助金事業として取り組んでいる「子

ども食堂」を、今後 3 年間の継続事業として育てていく計画です。単に子どもに食事を提供するだけでなく、地域の居場所づくり、安心できる環境づくりという意味でも重要な活動です。これは奉仕活動であると同時に、私たち自身が地域とのつながりを再確認し、ロータリアンとしての誇りと使命感を深める機会でもあります。

「会長の時間」では、今後も毎月のテーマに沿って、国際ロータリーの方針や世界の情勢、さらには地域の課題などにも触れながら、皆さんと価値観を共有していきたいと考えています。ただ会の運営に携わるだけでなく、ここに集う私たち一人ひとりが、ロータリーの灯を胸に、地域へ、そして世界へと行動を広げていけるよう、微力ながら努力してまいります。

結びに、この一年間がクラブにとって実りあるものとなりますよう、そして「母子の健康」をはじめとしたさまざまなテーマに真摯に向き合い、言行の「言」と「行」を一致させたロータリー活動を皆さまと共に進めていけることを、心より願っております。

ご協力・ご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

本日も例会にご出席頂き 誠にありがとうございました。

●幹事報告 幹事 井ノ下 雄志

- ◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より
- ・世界ポリオデーイベント フォトコンテストのご案内
- ・地区奉仕プロジェクト補助金申請のご案内
- ・子ども食堂支援ラーニングセミナーのご案内
日時：9 月 13 日(土) 14:00～17:15
会場：プラトンホテル四日市
- ・ウクライナ戦争孤児支援食堂プロジェクトのご協力について
- ・6 月クラブ増強報告

- ロータリー米山記念奨学会より
- ・ハイライトよねやま 304

- 高山西ロータリークラブより
- ・例会変更のお知らせ
7 月 25 日(金) 休会
8 月 15 日(金) 休会

<活動計画書>

- ・下呂 RC ・可児 RC

<会報>

- ・下呂 RC

●就任挨拶

会長エレクト 熊崎 元康

本年度会長エレクトの熊崎です。

昨年度堀口会長の時は皆様方のご指導を賜りました事、この場をお借りしてお礼申し上げます。

本年より色々な代理と言う肩書がなくなり、都竹会長をはじめ、岩本 AG 並びに役員理事の方々のご指導の下、次年度に向けた準備期間に入ります。諸先輩方が築いてきた 35 年の歴史を確認し、またロータリーに対する考え知識を改めて勉強し、次年度に向けて準備を進めていきたいと考えております。

今までなにもしてこなかったことを後悔しておりますが、なんとか自分なりに頑張りたいと思いますので、皆様方のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



副会長 下田 徳彦

今年度副会長を拝命いたしました下田徳彦です。一年間よろしくお願いいたします。都竹会長の思いを実現できるように、サポーター役として、また熊崎会長エレクトの背中を見ながら一年間努めさせていただきます。

今年度は若い 4 名の新入会員が加わり、私自身は今年入会 18 年目となり、会員の平均年齢のあたりになると思います。このまま進むと還暦で会長職となりますが、入会当初に島さんや刃田さんの還暦祝いに参加した事を思い出します。

若いメンバーの思いとチャーターメンバーやこれまでクラブを築いてきた諸先輩の思いを組み入れながら、中間的な立場として、クラブ活動に携わっていきたく思いますので、よろしくお願いいたします。



●ガバナー補佐訪問 濃飛グループガバナー補佐

岩本 正樹 様

みなさんこんにちは、濃飛グループガバナー補佐の岩本です。今日は今年度第 1 回目のクラブ訪問という事で少しスピーチをさせていただきます。この様に今年度は皆様方の前に立たせて頂く機会が度々ございますの



で、よろしくお願いたします。

他のクラブでは最初に私の自己紹介から始めるのですが、所属クラブでございますのでその辺は省略させて頂きまして、若い会員の方もお見えになりますのでガバナー補佐について説明させて頂きます。我々の地区は第 2630 地区であります、岐阜県と三重県で構成されておまして、その地区は 12 のグループに区切られております。我々のクラブは濃飛グループに属しておまして、北から高山 R C、高山西 R C、高山中央 R C、南に下がりまして下呂 R C、可児 R C、美濃加茂 R C と木曾川水系に位置する 6 クラブで構成されております。そのグループから一人選ばれてガバナーの補佐役として、地区やガバナーと濃飛グループ各クラブの橋渡しをするのがガバナー補佐でございます。横文字でアシスタントガバナー、略して A G と言います。どうか覚えておいてください。

それではガバナー補佐としてのお務めをさせて頂きたいと思っております。先ず R I 会長の紹介ですが、先月突然 R I 会長エレクトのマリオさんが辞任されましたが、後任として理事会で選ばれたのがフランチェスコ・アレツォ氏という方でございます、イタリアのラグーザ・ロータリークラブ所属でございます。職業は矯正歯科医だそうです。2023 年 8 月に行われた R I 会長指名委員会によって検討された候補者の中から選び直されたという事でございます。2025-26 年度 R I 会長メッセージであります「よいことのために手を取りあおう」はそのまま継承されるということでございますので、地区の方でも印刷物等の混乱は多少あったようですが、混乱は最小限で済んでいる様に聞いております。

次に我々第 2630 地区本年度ガバナーの玉野英美さんについての紹介とメッセージをお伝えしたいと思います。所属クラブは桑名北ロータリークラブで職業は旅行代理店を営んでみえる聞いております。大変肝っ玉の座った明るく楽しい女性でございます。その脇で安田健三という方が地区代表幹事を務めておりますが、とにかく 2 人共凄く明るくて細かいことはあまり気にせずリーダーシップを発揮しておりますので、今年 1 年楽しくて活気あふれる 2630 地区に導いていかれるんだろうなと期待感を持って見ているところでございます。

それではそんな玉野ガバナーのメッセージをお伝えしたいと思います。

皆さん、2025-26 年度ガバナーを拝命しました玉野英美でございます。

R I 会長のメッセージ「よいことのために手を取りあおう」を受け、私からの今年度の地区へのメッセージとして「RISE with ROTARY」～地区と地域の未来を考えて～ といいたしました。

地区の皆様がロータリーをさらに楽しみながら

盛り上げて頂きもっと自地区を上昇させていき、地元地域を活性化していきましょうという意味も込めまして、この様なメッセージとさせて頂きました。地域と会員が、会員とクラブが、クラブと地区が、地区と R I がいつも繋がっていなければなりません。2025-26 年度の地区運営は、地区内の「つながり」を大切にしていきます。

以下、話はまだまだ続きますが大変長いのでここでは端折らせて頂きますが、活動計画書に記載されておりますのでまた目を通して置いて頂ければと思います。

この A G 就任前の半年の間色々なセミナーで玉野ガバナーのお話しをお聞きして何に重きを置いて活動していくのか私なりに感じ取りましたのは、ひとつは日本のロータリーの伝統的な倫理基準であります職業奉仕の理念の再認識と向上、そして公共イメージの向上、会員増強の強化、あと、青少年育成を含めた地域社会での奉仕活動を重点項目に据えていると感じ取りました。

先程例会前に会長幹事懇談会を開かせて頂きまして活動計画書を拝見致しましたが、都竹会長のメッセージであります「親睦、学び、成長、奉仕」～地区と地域の未来を考えて～のもと、ロータリーの五大奉仕を実践し、親睦を深め、共に学び共に成長することで、必ずや地域の未来は拓かれると述べられております。その為に今年度の活動の柱として、「例会出席率の向上」、「会員増強」、そして「3 年間の目標と計画」として子ども食堂を取り上げ地域に対しての奉仕事業を展開するなど、都竹会長の活動方針は、玉野ガバナーの活動方針に十分に沿っているものだと確認させて頂きました。高山中央ロータリークラブは今年「創立 35 周年記念事業」でありますとか、インターシティミーティングの開催でありますとか、他にも行事が大変多くございますが、この活動計画をもとにクラブ全員で 1 年間取り組んで頂ければきっと素晴らしい都竹年度になるのではないかと確信をしているところでございます。私も微力ながら A G としてお手伝いさせて頂きますので何かございましたら何なりとお申し付けくださればと思います。

それと私のお役目ですので大変恐縮なお願いをさせて頂きますが、マイロータリーの登録率が 68%でございます。慣れれば結構便利なものでございますし、ロータリーを学ぶうえでは大変良いツールでございますので、100%登録を目指してまだ未登録の方は是非登録をお願いいたします。またロータリー財団、米山奨学、ポリオなどの寄付や募金など皆様方にご負担をお掛けする事ばかりで大変申し訳ございませんが、今年も宜しくお願い申し上げます。

それとガバナー公式訪問が、9 月 12 日金曜日の 12 時 30 分からひだホテルプラザにての開催とな

っております。そして、10月26日、日曜日には我がクラブのホストのもと、ひだホテルプラザにてインターシティミーティングを開催させていただきます。今日も例会終了後IM実行委員会を開いて準備を進めますが、都竹会長もこの日は例会日とし、出席100%例会日に指定しておられますので、是非とも会員全員でお手伝い頂きますよう宜しくお願い申し上げます。また、この二つの行事は濃飛グループの友好の輪を広げる意味でも大変有意義な機会でございますので、是非とも参加をお願いしたいと思います。それともう一つ、10月13日の月曜日祭日ですが、ガバナー杯チャリティゴルフコンペの予選会を高山カントリークラブにおいて開催しますが、これも今井ゴルフ部長のもと実行委員会を立ち上げて準備を進めております。ゴルフをされる方はもとよりされない方にもお手伝いをお願いすることになると思いますのでどうかよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、都竹会長、井ノ下幹事のもと、高山中央ロータリークラブが今年1年無事に活動されることを祈念致しまして、私の第1回訪問のスピーチとさせていただきます。ありがとうございます。

●総会 前年度会計報告

前年度会計 中田 学



会計監査報告

会計監査 山本 辰男



今年度予算報告

会計 田中 雅昭



<ニコニコBOX>

今年度一年間よろしくお願い致します。

濃飛グループガバナー補佐 岩本 正樹 様

岩本AG、本日はありがとうございます。一年間大変と思いますがお身体をご自愛ください。

井ノ下 雄志

ニコニコ委員長になりました。住でございます。一年間よろしくお願い致します。

住 裕治

本日早退します。

中田 学